

こどもからの意見に対する考え方などについて

意見の取扱区分

- 「A」…修正（計画案に文字を加えたり、直したりするご意見）
「B」…記載済（計画案に考え方や取組などが、書かれているご意見）
「C」…参考（今後の取組に参考とさせていただくご意見）

- 「D」…回答（質問やご意見にお答えするもの）
「E」…その他（感想によりお答えしないもの）

※該当ページと取組番号は、意見を募集した時に公開した内容です。

番号	該当ページ	取組など	意見	意見の とりあつかい区分	意見に対する考え方など	回答課
1	—	—	使わなくなった学校の体育館などを利用して、室内に、だれでもBMXの練習ができる場所を作してほしい。	D	閉校する地域の5校の体育館については、これまでから定期的に使われていた団体が、令和7年度も引き続いて使うということが、以前から約束されています。そのため、今の時点では、学校の体育館を活用し、市が運営するBMXの練習場を作る予定はありません。 しかし、市の施設ではありませんが、民間の会社が運営するBMX用の施設が滝野地域にあることはご存じでしょうか。使用料が必要かもしれませんが、一度、ご確認いただけたらと思います。 今後、同じような要望がたくさん出てきた	教育総務課

					ばあい かんが げんじてん かいとう うえ 場合は 考 えますが、現時点での回答は上 のとおりとなります。大変申し訳ありませ んが、ご理解くださいますようお願いしま す。	
2	—	—	スナッグゴルフが練習できる ところを作ってもらえるよう、 ゴルフ 場 をお願いしてほしい。	D	かとうし きょうかい き 加東市ゴルフ協会にお聞きしたところ、 市内 ゴルフ 場 内でスナッグゴルフの 練習 場を作ることは、難しいようです が、体育館や近くの公園、社 中央公園ステ ラパークの芝生部分で練習することはで きます。ただし、施設によっては事前の 申込みや使用料が必要な場所もあるので 注意してください。使うときは、まわりを よく見て、他の人と譲り合いながら、安全 に使ってください。 また、市役所の生涯学習課では小学生チ ャレンジスクールで「スナッグゴルフ体験 教室」や「ゴルフ体験教室」も行ってい ますので、ほかのお友達と一緒に練習し てもらうこともできます。もし、興味があ れば参加してみてください。 しっかりと指導を受けたい場合は、 「加東市ゴルフ協会」が行っている	しょうこうかんこうか 商工観光課 しょうがいがくしゅうか 生涯学習課

					きょうしつ かい 教室などに入ってもらうのもよいかもしれ ません。	
3	P52 ~55	基本施策（3） こどもの貧困対策	み 見えないところで貧困 ひんこん が起こっ ていることが、理解 りかい できた。	E	—	—
4	P49 P50 P64	No.1-02、3-06 保育士・保育教諭等の 資質向上及び適正配 置 No.1-10 小・中・義務教育学校 における人権教育の 推進	かとうし がいこくじん かた おお す 加東市には外国人の方も多く住 まわれているので、文化が違う がいこく かた はいりよ 外国の方にも配慮できるような してん ひつよう おも 視点が必要だと思った。	C	がつまつげんざい かとうし せたい し 12月末現在で、加東市には、1,392世帯（市 世帯の7.8%）、1,887人（市人口の4.8%） がいこく かた す の外国の方が住んでおられます。この計画 には書いていませんが、かとうし では、つうやく たんとう しよくいん はいち こくご 担当の職員を配置したり、8か国語の せいかつ 生活ガイドブックを作ったり（ホームペー ジでも確認 かくにん できます）、まどぐち ほんやくき つか うなど、外国の方が、かとうし での生活に、 がいこく かた かとうし せいかつ できるだけ困らないような取組 とりくみ に努めて います。また、こどもえん などでもがいこくじん のこどもが困らないよう、あたう とりくみ かんが えているところです。これからも、ひ づ き、がいこく かた かとうし あんしん く 外国の方が加東市で安心して暮らして いただけるよう努めていきたいと かんが えます。	こどもきょういくか こども教育課

5	—	—	それぞれの目標に対して 具体的な対策（目標値設定）が あまり詳しく書かれていないと思 った。	B	基本目標は、加東市が目指すところ が、目標を達成するために、た くさんの取組があり、それをま とめて目標の数値として書く のは難しいと考え、設定はし ていません。しかし、その中 で特に重要と思う取組に目標 値を設定し、クリアしていく ことで、目指すところに近づ いていくと考えています。ま た、第5章の量の見込み及び 確保の方策のところでも、そ れぞれの事業に目標値を設 定しています。 全ての取組に目標値の設定は していませんが、毎年、達成 状況などを評価・点検し、必 要に応じて改善や見直しを行 い、目標が達成できるよう努 めていきます。	こども教育課
6	P14	子ども・子育て支援に 関するニーズ調査 ① 子育てを主に行っ ている人【就学前児 童・就学児童】	子育てを主に行っている人の割合 としては、母親の方が多いので、 女性に任せきりにならないよう な工夫が必要だと思った。	B	P69・70の「基本施策（2）子育 てと仕事ができる環境整備の推 進」において、「性別にとらわれ ず子育てと仕事ができる環境 づくりや、男女共同参画に対 する意識啓発を図ります」と 書いています。	こども教育課

					職場環境の整備への働きかけや家庭における男性の育児・家事への関わり方を啓発するなど、取り組んでいきます。	
7	—	—	すべての子どもがストレスなく暮らせることが大切であるので、その視点を持ってほしいと思った。	C	すべての子どもがストレスなく暮らせるということは、心身ともに充実した生活が送られていると考えられ、基本理念にあるように「すべての子どもがしあわせを実感できるまち」に繋がります。また、子どもがそうであれば、大人や周りの人も同じように、しあわせを実感できると思うので、とても大切なことです。 しかし、ストレスの原因は、人によって違うため、ストレスがなくなる取組を書くことは、難しいと考えます。取組として書いていませんが、これからも関係機関と話し合いながら、こどものストレスが少しでも軽減できるよう努めていきます。	こども教育課